女川原子力発電所第	2号機 工事計画審査資料
資料番号	02-補-E-19-0600-40-2_改 5
提出年月日	2021年11月4日

補足-600-40-2 設計基準対象施設の耐震重要度分類表について 設置変更許可及び建設時工事計画認可からの変更点

目次

1.	概要	1
2.	設置変更許可からの変更点	1
3.	建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点	4

1. 概要

本資料は、添付書類「VI-2-1-4 耐震重要度分類及び重大事故等対処施設の施設区分の基本方針」のうち、「表 2-1 設計基準対象施設の耐震重要度分類表」について、設置変更許可段階からの変更点を整理するとともに、建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点について整理したものである。

2. 設置変更許可からの変更点

女川原子力発電所発電用原子炉設置変更許可申請書(2号発電用原子炉施設の変更)本文及び添付書類の一部補正について(令和2年2月26日許可)からの変更点及び変更理由について、表1のとおり整理した(変更箇所の詳細は添付資料1参照)。

表1 設置変更許可審査からの変更点 (1/2)

	変更前(令和2年2月26日設置変更許可時)	変更後 (今回工認)	変更理由	対応 ページ
1	原子炉遮蔽壁	原子炉しゃへい壁	工事計画認可申請名称への変更	7, 9
2	1 号炉	第1号機	同上	7, 8, 9
3	制御棒貯蔵ハンガ	_	設計進捗に伴う変更 (再起動前までに撤去する方針としたため削除)	7
4	軽油タンク基礎	軽油タンク室	工事計画認可申請名称への変更	7, 8, 9
(5)	前面護岸	_	設計進捗に伴う変更 (設置変更許可時は、補助設備としての冷却系に対す る波及的影響を考慮すべき施設としていたが、工認段 階においては、取水口及び貯留堰に対する波及的影響 を考慮すべき施設として整理するため削除)	8, 9
6	原子炉遮蔽プラグ	原子炉ウェルカバー	工事計画認可申請名称への変更	8
7	3 号炉	第3号機	同上	9
8-1	防潮堤	防潮堤(鋼管式鉛直壁)	同上	9
8-2	防潮堤	防潮堤 (盛土堤防)	同上	9
9	_	出口側集水ピット (屋外排水路逆 流防止設備 (防潮堤南側))	設計進捗に伴う変更 (耐津波設計等の構造確定に伴う追加)	9
10	_	出口側集水ピット(屋外排水路逆 流防止設備(防潮堤北側))	同上	9
11)	2 号炉	第2号機	工事計画認可申請名称への変更	9
12	_	防潮壁(第3号機放水立坑)	設計進捗に伴う変更 (耐津波設計等の構造確定に伴う追加)	9

Ç

表1 設置変更許可審査からの変更点 (2/2)

K		衣1 改直変史計り番笙からの変史		
	変更前(令和2年2月26日設置変更許可時)	変更後 (今回工認)	変更理由	対応 ページ
13	揚水井戸	揚水井戸(第3号機海水ポンプ室防 潮壁区画内)	工事計画認可申請名称への変更	9
14)	3 号炉海水ポンプ室門型クレーン	_	設計進捗に伴う変更 (再起動前までに撤去する方針としたため削除)	9
(15)	アクセスルート	アクセスルート(防潮堤(盛土堤防))	工事計画認可申請名称への変更	9
(fb)	3号炉取水路	_	設計進捗に伴う変更 (設置変更許可時は,防潮堤に対する波及的影響を 考慮すべき施設としていたが,工認段階において は,防潮堤(鋼管式鉛直壁)に対する波及的影響を 考慮すべき施設として整理するため削除)	9
(17)	_	前面護岸	設計進捗に伴う変更 (今回工事計画認可段階で波及的影響を考慮すべき施設が明確になったことに伴う追加)	9
18	_	第1号機取水路	同上	9
19	建物・構築物	建物・構築物、土木構造物	記載の適正化(土木構造物について明確化)	11
20	下位の耐震クラスに属するものの破損 等によって上位の分類に属するものに 波及的影響を及ぼすおそれのある施設	下位クラス施設のうち,その破損等 によって上位クラス施設に波及的影響を及ぼすおそれのある施設	記載の適正化	11
21)	原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷 却海水系を含む)	記載の適正化(高圧炉心スプレイ補機冷却水系も同様に変更)	7,8
22)	_	防護設備(防潮堤(鋼管式鉛直壁))	設計進捗に伴う変更 (対津波設計等の構造確定に伴う追加)	7, 8, 9
23	_	屋外排水路(敷地側集水ピット(北側),北側排水路(防潮堤横断部)及び出口側集水ピット(北側))	設計進捗に伴う変更 (地下水位低下設備の排水経路として追加)	10

3. 建設時工事計画認可からの耐震重要度分類の変更点

建設時工事計画認可からの耐震重要度分類が変更となった設備は、大別して以下の4ケースのものがある。

- ① 耐津波に関する設備の新規追加(Sクラス)
- ② 地下水位低下設備の新規追加 (Cクラス)
- ③ 屋外排水路の新規追加(Cクラス)
- ④ 非常用ディーゼル発電機等の燃料を貯蔵する設備の格上げ(C→S クラス)
- ⑤ 発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂に伴う変更(A→Sクラス)

それぞれの対象設備を表 2-1 示す。また、耐震重要度分類の変更ではないが、検討用地 震動が変更になった設備を表 2-2 に示す。

なお、発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針の改訂に伴い、建設時工認において As クラス又は A クラスとしていた設備は、今回工認においては S クラスに整理される。耐震重要度分類が A クラスだった設備は、建設時工認においては基準地震動 S_1 による評価を実施していたが、今回工認においては、S クラスに分類されることから基準地震動 S_1 S 及び弾性設計用地震動 S_2 d による評価を実施する。

表 2-1 建設時工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備(1/2)

	設備名称	備考
 耐津波に関する設備の新規追加(Sクラス) 	 ・防潮堤(鋼管式鉛直壁) ・防潮堤(盛土堤防) ・防潮壁(第2号機海水ポンプ室) ・防潮壁(第3号機海水ポンプ室) ・防潮壁(第3号機海水立坑) ・防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋) ・取放水路流路縮小工(第1号機取水路) ・取放水路流路縮小工(第1号機放水路) ・貯留堰 ・逆流防止設備 ・水密扉 ・浸水防止蓋 ・逆止弁付ファンネル ・貫通部止水処置 ・津波監視カメラ ・取水ピット水位計 	
② 地下水位低下設備 の新規追加 (C クラス*)	 ・ドレーン ・接続桝 ・揚水井戸 ・揚水ポンプ ・水位計 ・制御盤 ・電源盤 ・関連配管・弁 	
③ 屋外排水路の新規 追加 (C クラス*)	・敷地側集水ピット(北側)・北側排水路(防潮堤横断部)・出口側集水ピット(北側)	
④ 非常用ディーゼル 発電機等の燃料を貯 蔵する設備の格上げ (C→S クラス)	 ・非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ ・非常用ディーゼル発電設備軽油タンク ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ ・高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク ・関連配管・弁 	

注記*:Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。

表 2-1 建設時工事計画認可から耐震重要度分類が変更となった設備 (2/2)

・低圧炉心スプレイ系ポンプ・低圧炉心スプレイ系ストレーナ・低圧炉心スプレイ系配管・弁		設備名称	備考
・機留無疾去系配管・弁(低圧注水モード連転、格納容器スプレイ冷却モード運転及び燃料プール冷却運転に必要な設備) ・主蒸気逃がし安全弁自動減圧機能用アキュムレータ ・主蒸気系配管・弁 ・高圧窒素ガス供給系配管・弁 ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置プロワ ・可燃性ガス濃度制御系再結合装置 ・可燃性ガス濃度制御系配管・弁 ・原子アが大変度制御系配管・弁 ・原子アガス処理系空気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系で気乾燥装置 ・非常用ガス処理系配管・弁 ・真空破壊弁 ・ダウンカマ ・ベント管ベローズ ・ベント管ベローズ ・ベントでベローズ ・ベントでベローズ ・ベントへッダ ・ほう酸水注入系配管・弁 ・圧力容器内部構造物 ・中央制御室とへい壁 ・中央制御室送風機 ・中央制御室再循環送風機	に関する耐震設計審 査指針の改訂に伴う	・低圧炉心スプレイ系配管・弁 ・低圧炉心スプレイ系配管・弁 ・残いれた。 ・残いないのでは、一次のでは、大きないでは、一次のでは、大きないではないでは、大きないでは、大きないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	

表 2-2 検討用地震動が変更となった設備

	設備名称	備考
波及的影響を考慮すべ		耐震重要度分類の変更で
き施設に適用する地震	・原子炉建屋クレーン	はないが,検討用地震動
動の変更	・原丁が建産グレーン	が変更となった設備とし
$(S_1 (Sd) \rightarrow SS)$		て抽出

設置変更許可時からの変更点

				글	2置変更許可			変更計り時/ 	7 500及又派				4回	工事計画認可			
				į,	又旦发史計刊								う凹	上尹可四於り			
i d	在5) 給計用	地震動 (注意)	8 8 8 8 8	(2)	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	N N N N N N N N	က တ တ			12	新春 香香 香香	Į.	0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	. w w w w	
波及的影響を		適用範囲	・原子を遮蔽整 ① ・中央制御室大井照明 ・タービン建屋 ・補助ボイラー程屋	1号が開創建設(2) 原子で開始シレニン 然料交換機 開闢解析廠、シガ 開闢解析廠で・ガ 開闢解析。第ラック 然料チャンネル着 脱機	ターピン像展 中央域権を採用 ・ 相助がイラー包屋 ・ 1号が開卵電展②	海ネボンブ治司 超々ワーン 酒参の課 ネット 単山海森 原子を別略フーン 中央部署所の計算 原文の監察 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大成の第 東大大の第 東大大の第 東大大の第 東大大大の第 東大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大	補助ボイラー全屋 ・1号炉制御建屋②			放及可能等的	適用範囲	・原子のこなく。 ・中央制御電気井線順 ・タービン機履 ・種財ポイヤー機関 ・第1 具機響機関係 ②	・原子を発励をマーン・を表文を数 ・生活を対象数・生活を表現レック・ををイン・がをイングを表示している。	・中央海衛電気 大浦町 タードン 発展 ・着サボイラー 建図 ・第1 - 54 番 単 観 園屋	・海大ボンノ塩甲型 クアーン・・南地が緩ネット・・原子の場合・アーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ターピン態展 ・利力がイラー態度 ・第1号機等を展し ・反射影響・原源度・解 ・管力管理を ・第200円 ・	
4	(注4) 給計用		S S S		S S S	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	o o				五叠	o o o	s s	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
間接支持構造物			・原子炉本体の基 遊 ・原子炉建屋 ・開御建屋	- 原子炉建屋	・京子が建屋 ・原子炉本体の基 - 南御建屋 ・ 南御建屋	 ・原子が後屋 ・原本ボンブ室 ・原本ボンブ室 ・原本層で移り ・原油タンク基準 ・原油タンク基準 ・原油タンク連絡 ・原油タンク連絡 ・原油の変換 	101 PP AEABS			間接支持構造物等	適用範囲	・原子/学本体の <u>基施</u> ・原子/学生量 ・俳海祗皇	原子資產	- 原子が建築 - 原子が本体の基務 - 修御建立	・原子が連備・海水がノ畑 ・海水がノ畑 ・原子が機器が独特を配給 ダット ・魔苗ダンク艦(4) ・魔苗ダンク艦(4)	制御健 量	
		両 原クラス	w w	w	w	ω					調べた	ω ω	· ·	ω.	ω	•	
直接支持構造物		適用範囲	・原子炉圧力容器支 持スカート ・機器・配管、電 気計装設備等の	大学権宣物・機器の支持構造・物	· 泰昭· 西徐· 庙 水叶 紫映 庙 绛 。 太守秦治物	・機器・配管・間 気計装設備等の 対等構造物				直接支持構造物**		・原子(可三力容器文 持スカート ・機器・配管、電気 計装設備等の支 料構造物	・機器の支持構造 物	・機器・配流・ 自気 甲状数化等の支 特殊性的	・機器・配管、電気 計装設・指等の支 持精造物		
(o t		両 猿 クラス	S	ì	α α α	ω ω ω	w				再クラン	ω	I	o o o	w	o o	ω.
補助設備		適用範囲	・隔離弁を閉とするために必要な 電気計装設備	ı	・ が心支持構造物・ 電気計模設備・ チャンネルボックス	・当該施設の冷却 多、(匠子炉植機合 地域) (では、 を含む) ・当該施設の機能 維持に必要な空 調設備			神功起光備**	適用範囲	・阿羅仲を別とするためた必要な電気計 発表を	1	・部で対対事権記録・・語気が正確改権・・・語気が正確改権・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・当該施設の治却系(原子)を推議治力、条(原子)を推議治力、条(原子)を推議治別(海大水方台)。 高田(西ノメアノ推議名目がファイアー推議名目を表しては、第一年のアメアノ推議名目を表しては、第一年の12年を表しませる。	プレイ無難後近確火 承を行う)② ・近い女共戦闘を ・非常田闘の及び当教 設備「アールン第	和後のようによる 本・利力が高いなった。 ・出版画訳とを記述。 に必要な空間監定権
3		計 歳ップラス	s s	s s	o	o o	S				理タランス	s s	o o	ø	0 0 0 0		
主要設備		適用範囲	・原子が圧力容器 ・原子が冷却材圧力 パウンダリに属す る容器・配管・ボ		・制御棒、制御棒撃 動機権及び制御棒 駆動水圧系 (スク ラム機能に関する 部分)	・原子戸隔離時沿 却系 ・高圧戸心スプレ イ系 ・残留兼除去系(停 に時冷却モード 正時冷却モード 正明心変な設	語, ・治却太優としての サプレッションチ ェンバ			主國沿備*1	適用範囲	原子が圧力容器 原子を治理を圧力、ウンダリア属する容器 開催・ポンプ・弁		・能御機・指揮器関数 権及り推御機関的 田塚 (メクサム機能に 関于を指治)	・原子な産業等を対象・商田がスメアノス総・商田がスメアノス総の監察社成、6年日の名は出土・下部高い対解が表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	アンドルトロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロングロ	
	機能別分類		(i) 「原子炉や却 材圧カバウンダ リ」を構成する 機器・配管系		(Ⅲ)原子布の総合存止のために後 液に負の反応度 液に負の反応度 を付加するため の施設及び原子 がの存に状態や 維持するための	(iv)原子哲學止後、好心から崩壊熱を除去する ための施設 ための施設							(三)使用済然料を貯蔵 するための施設	(油)原子のの験値停止 のために他験に進り 反応機を付加するた めの衝散及が原子を の停止状態を維持す なために観致	(b)原子庁単士後、 垣ひから 直接繋を除去するための指数		
	耐震重要度	分類	Sグラス								公 類 類	S 75 %	l	I	1		

											設	置	変	更	[]	干可	•														
(注5)	検討用 地震動 (注6)	Ss	S	S	n o	s s	S	S				S	i	S	S	s s	Ss	Ss		S	S	o o	ט מ	ט מ	0 00	2					
波及的影響を 考慮すべき施設 (?	適用範囲	・海水ポンプ室門型クレーン	・竜巻防護ネット	・前面護岸 ⑤	・中中年編集大士展開	・メービン建屋	・権助ボイラー建産	· 1 号炉制御建屋②				・原子炉ウェル塩	厳ブラグ (6)	・中央制御室天井昭明	・メードン傾屈	・ 相助ホイフー運通・ 日号が制御建設(2)	· 1号炉排気第②	・海水ポンプ室門	型クレーン	・直巻 万護ネット	・前面護岸 ⑤	・原子が過程クラー・	・メープン母師	世世ノーと世世・発士・	・ 号位制御碑屋(2)	i) Haraini e					
(注4)	検討用 地震動 (注6)	SSS	S		n 0		Ss					S	Ss				Ss	Ss	Ss			S	O			0 00					
間接支持構造物	適用範囲	・原子戸建屋・海木ポンプ室	·原子炉機器冷却	海水配管ダクト	・軽声シンを競争・軽力を	ダクト	·制御建屋					· 原子戶建屋	・制御車屋				·原子戶建屋	・海木ポンプ室	·原子炉機器冷却		・軽油パンク基機(4)	・配面タンツ母格がカル	・ 帯に徳田級ガル	・弁太同母指ラント	· 排气管基礎	・制御事屋	4				
(注3)	重 次 ラフス	S										'n					S														
直接支持構造物	適用範囲	・機器・配管,電気計装設備等の	支持構造物									・機器・配置・電	気計装設備等の	支持構造物			・機器・配管, 電	世代	支持構造物												
(注2)	重 クラス	S		S				S	V)		S					s			S				U)						
補助設備	適用範囲	- 当該施設の冷却 系(原子炉補機合	却系)②	非常用電源及び	三次収量(ノイーナーを発音権及び	その治哲派・補	助施設を含む)	中央制御室の遮	数 ない いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に いい に 	維持に必要な空	調設備	隔離弁を割とす	るために必要な	電気計装設備			当該施設の冷却	系(原子炉補機冷	期系)② □	非常用電源及び	計装設備(ディーエ・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル・ジャル	カケ 労 田 極 及 タ ウ タ か か か か か か か か か か か か か	日本語 は 大・ 国 田本語 なんせい 国	以 表 体 野 の 勝 体	当該施政の政部維持に必要な空	語砂価	IIIA NA GAR				
(注1)	耐 ララス	S						9	S			S	S				S				S	o	0	U	0	V.)			S	
主要設備	適用範囲	・非常用炉心冷却系1) 高圧炉心スプレ	/系	2) 低圧炉心スプ	3) 麻姆赖哈士圣(华	田注水モード道	転こ必要な設備)	4)自動減圧系	・ 名学 大原 かして の キアフッション 中	H		·原子炉格翘谷精	· 原子炉格納容器	パウンダリに風	する配管・开		· 残留熟除去系(棉	納容器スプレイ	冷却モード運転	に必要な設備)	・可燃性ガス濃度 加油を	· 西之后每 5 厘 7	- 原工产年四所工	1. 计型用子之间组	来る7K排気筒	・原子市格納容別	压力抑制装置(<	ントヘッダ、グ	ウンカマ郷)	・冷却水源としてのサル・	HIN
	機能別公類	(v)原子炉舎却材 圧カバウンダリ破	損事故後, 戶心か	ら崩壊熱を除去するよう	らしめら見収							(vi)原子炉台型材	圧力バウンダリ破	損事故の際に、圧	力障壁となり放射	在物質の放散を直接圧ぐための指導	(vii)放射性物質の	放出を伴うような	事故の際に、その	外部放散を抑制す	るための指数や上れています。	記(M)以外の掲段									
The de de la contraction of the second		Sクラス									,																				

				T
9	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N	© S S S S S S S S S	
表文の表準を 考慮すべき施設 **	適用範囲	・ 様々ない了新門監 クレート・ ・ 他等が様々ット 中央時間を打印 中央時間を打印 サービン程置 ・ サービン程置 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	- 原子 がウェルカバー - 中央制御室天井飛げ - ケービン建国 - 補助ポイラー建屋 - 第1号機削測建屋(2)	第1 日本樹木気間(2)
	松計	α α α α α α α α α α α α α α α α α α α	o o	
品接支持衛體約**		原子母後書 「原子母後報子子」 カラト アクト アクト 所加アン第 (6 18319 ンク連絡タクト ・新加速	選問を受ける。 ほうかん という はい	「原子力を進展 「後々なシープを 第子が機能が発展する。 第一子を 第二子を 「衛生ランクを 「衛生ランクを 権力所能称ラトト 権力所能称 事業のを 事業のを 事業のを 事業のを 事業のを 事業のを 事業のを 事業のを
*3	原をなった。	ο	ω	vs.
直接支持構造物**3	適用範囲	· 攝影 尼斯 电效子 计基础 电弧 电线 计基础 电弧 计基础 化二烷 电弧 计基础 化二烷	・機器・記憶、電気 計製設備等の支 持衛温物	· 秦帝 · 阳游 · 阳郊
	順くため	ω ω ω ω	os.	oo oo oo
相助設備*2	画用範囲	 当後能能力の冷却等 第一旦後期的の治力等 第一旦時間的 第一旦時間 第一旦時間 第一旦 第一回 第一回 第一回 第二回 第二回<	・開催が加えたのた るに必要な電気計 対数値	・当該施設の冷却系 (10-7年開業の記載を (10-7年開業を 第0-7年開業を (10-7年) (10-7年)
	信 クラス スラス	o o	o o	w www w
西部名標。	適用範囲	・無事用の、本社が の	・原子宣格維格器・原子宣格維格器・ウンダンに属する配置・弁	・整面機能は液(格維格 時間・大型・大型・ ・回動はより数の経過 ・回動性対大機時間が ・同様性対大機時間が ・同様では ・同様では ・原子を組得及し ・ 様に ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一 ・ 一
	機能的沙類	(v) 原子学体性対比力 ベランダン 砂砂湖準松 後、原心がら海線線を 検定するための施設	(4)原子が各域対圧力ペンクルの過事故へスケングルの過事故の解して力機能となり放射性後質の放散を指数質の放散を直接的ぐための施設	(山) 液体性が質の放出 中土した事故の 際に、その外間が依 む間するための循版 で上記(4) 以外の値 設
MAN STATE OF THE PARTY OF THE P	少量数	8 4 10 8		

今回工事計画認可

			変更許可					今回工事計画	可認可	
‡5)	検討用地震動	(H.b) (A.c. S.	N N N N N N N N N N N N N N N N N N N		0		また。 高い で で で で で で で で で で で り で り で り で り で	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *		
波及り影響が表情がある。	適用範囲	- 藤木ボン7 第四型ケーン、型型ケーン、 型ケーン、	海水ボンイ第四 南後防護等の上 高後防護等の 高値開業(3) 3 おが取水格(3) 1. アセスレート(3) アレスレート(3) ターレン海線(4) アルンドカルート(3) 1. ファンドルート(3) 1. ファンドルート(4) 1. ファンドルート(4)	原子が開送りたり 原子を開発を 原子を 原子を の テストンが テストンが デストンが デストンが デストンが デストンが 関クレーン ・ 「 の の の の の の の の の の の の の	STREET, ALLEY CO. T. STREET, A	放送を受験権を	適用範囲	- 株式など、本部1127 レーン - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	や プローリントン を	・原子では高ツーン・ ・原子では高ツーン・ ・原子の大学 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
(注4)	検討用地震動			\(\omega				・ 一	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	東京 (東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東
間姿支持構造物	適用範囲	3. 号を確水熱交換器機配の 機器機配の 防器機配の 防器機配の 防器機 (2. 早間 防水がのの 開水時 (3. 早間 開水時 (3. 早間 開水時 (3. 早間 開水時 (3. 日間 開水 (4. 日間 1. 日	原子哲康優 防御器 ®-2 藤水糸・フ雪 藤木糸・フ雪 藤子 機器 帝国 藤木 藤子 藤田 寺 藤田 タンク 基総 種間 タンク 連絡	- 原子が生産 ・海水ボンブ室 ・原子を機器や却 海水配等を3ト ・ ・ 原油タンの ・ 展油タンの連絡 タクト ・ 同調準度 ・ 同調準度 ・ 原コタンの ・ 原コタの ・ ・ ・ ・		間接支持精造物**!		- 第3 - 5 第3 - 5 第3 - 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1	動 ®-2 SSS (他大型音音 SSS)	
(年3)	高される。		Ø	w w		開後な	適用範囲	線の 毛橋谷本株 (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48) (48)	東大声権原 野海海 (<mark>隣一部</mark> 海大北ノノ河 東大道を銀売却 ダクト 森苗ダンケ着 電油ダンケ着 ・	・原子が連続 ・海大はシン連 ・デスセランを ・デストを観光は様々の形 ・デストを ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
直接支持構造物	田) 支持構	2音、 8番等の 8を 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の 9の	2倍、 16巻 参 多 多 を		88	型 グラス	w	ω	ω ω
直接	適用範囲	・ 機器等の文持 造物 造物	· 機器, 配衛, 等 気量装設備等 支柱構造物	· 機器・配管・自 次率数限 網 終の 支持構造物 · 原中伊田力発器		直接支持精造物等		郷の支持	機能 記憶 譜 気計液胶債等 の文字権證約	・機器・音響・電
(年2)	重し、減ケース	1	ω	ν	_		18 ×	· 機能等	<u>*</u>	
補助設備	適用範囲	1	・非常用電源及び P装設備 (ディー Pを電機及び その治却系・補 助施設を含む)	・非常用電激及び 世報の 単数機 (ブイー 世界を発信 (ダイー 世外を指数を 後でから そのわり来・必ら 物臓を はり 動脈説を合む)		神助设備*2	適用御田	I	が発用がある。 を変してイーセンを発展をつかった。 が発展をつかった。 が出来、神界が改った。 が出来、神界がなった。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(注1)	画 歳クラス		o o	w w			単クランス 減	w w w w w w w w w	ωω	ω ωω
主要設備	適用範囲	防衛機 ・ 防機 ・ 防機 ・ 小工 ・ 財産 ・ 中型 ・ 大 ・ 財産 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	・排波艦視カメラ・取水ビット水低計・取水ビット水低計	機料アール水補給 股価 (%度対策) 森 (燃料フール水 の補給に必要な改 備) にう酸水注入系 にう酸水注入系 所子切圧力容器内 部構造物 (注8)		上要沒備**		、	・資気開発力メラ・原本にットを向手・原本にットを向手	・繋ぶノールな価値を指 (大型電影技术、後季 (大型電影技术、後季 は数値) ・ほり 整大社入線。 ・ほり 整大社入線。 ・ほう 整大社入線。 ・ほう 整大社入線。
	機能別分類	(山) 津波防護機能 を有する施設及び 浸水防止機能を有 する設備	(k) 敷地における 沖波監視機能を有 する設備	(x) みの他			整 犯公理	(4) 所設的課機能 存有了 (4) 不同 (5) 20 大场上	(K) 数元は元おける 非效解析機能を 有寸る値段	(x)その他
	一	S 7 7 X		1		町機工英	少 取 董	K N N N	•	1

			設置	变更許可					今回	工事計画認可		
8 (注4)	海 海 海 海 海 海 海 海 河 海 河 河 河 河 河 河 河 河 河 河	S S S	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	00 00 00 00 00 00	3	核計用 地震動	S S S	တို့ တို့ တို့ တို့	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	& & & & & & & & & & & & & & & & & & &	
間接支持構造物	適用範囲		・原子が建園・ダービン機関・メービン機関・発力が建園・土人、ベンが建園・ナイ・ベンカ建園・	・原本名様園 ・海米ボン人側 ・海の一部での一部 ・一部の一部での一部 ・一部を開発に深る画 ・一部を開発に深る画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・原子炉準屋 ・側御建屋 ・当該施設に係る屋 ・当該施設に係る屋 外コンクリート 構造物	間接支持權品物	適用範囲	· 原子/50建屋 · 制角建屋	・原子道能量 ・ダービン機関 ・液式液態器 ・サイトハンな速圏	・原子が建屋 ・海大大ン館 ・カードン発展 ・単体発展 ・出版制度に係る機が コンクリート構造的	・原子が建量・制/須建量・当該施設に係る量外コンクリート構造	- HACK
勿 (注3)	高くて、寒スト	O	O	O	C (注11)	20*3	草かった	0	O	O	C*I	
直接支持構造物	適用範囲	・機器・配管、電気 計装設備等の支持 構造物	・機器・配管等の支	・ 藤 路 ・ 門 徳 ・ 間 徳 ・ 間 瀬 ・ 間 ・ 間	・機器・配管, 電気 計装設備等の支持 構造物	直接支持權治數	適用無用	・機器 画覚 電気計 装設備等の支持構 造物	・機器・配管等の支持機能効	・機器・庫子管・電気量・ 装置値等の支持権 造物	・機器・配管、電気計 装設備等の支持権 造物	I
(3 英)	画 の 一 一 一 一 一 人 フ り	I	1		C (EII)		東マウン	I	I	I	C*L	I)
補助設備	適用範囲	1	I	I	・電気計扱設備	/相伊尼沙儒**	適用範囲	I	I	I	・電気計製設備	I
(1 左	重りである。	υυ	00 000	00 000 0 0 00	(III)		型 クラス	0 0	00 000	00000 0 0 00	C*11	C*II
主要設備	適用範囲	・原子が再循環流量 制御装置 ・制御棒駆動水圧系 (Sクラス及びB クラスに属さない 部分)	・ 野草林財米 ・ 国石体器 市上り 下浜 ・ 国石体器 市 り 一 下 ・ の国体器 第 参 取 校 ・ い 歌 信 (下 藤 黒 か ・ か か か か か か か か か か か か か か か か か か	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1設備	*興発養士	適用範囲	・原子行再信環流量告 (制装置 ・制御料構動が圧系(S クラス及(3Bクラス に属さない管分)		金剛女体 金剛女体 カードン金融在派派 本事大ルレー 本学 メンルー 本書	・地下水位低下設備	・ 屋外情水路(鉄柱側) 集水ピット(北側) 北側排水路(宍瀬堤 横側部)及び出口側
	機能別分類		(ii)放射性物質や内 酸しているか、又 なこれに関連した ないれた関連した 粘酸で3シッス及 びBクラスに属さ ない粘酸	(田)放射機な金に関係しない、施設等	1.		を記るので	(1)原子炉の反応変を 利制するための施設 でS クラス及びB クラスに属さない 値数	(ii)放射性数質を内臓 しているか、又はこれ に関連して施設で S クラス及び B クラス に属さない施設	(田)放射線安全に関係 したい電影等		
	耐震重要度 分 類	こクラス	1				耐震重要度 分類	こかラス				

設置変更許可 今回工事計画認可

- (注1) 主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。
- (注2) 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を 持つ設備をいう。
- (注3) 直接支持構造物とは、主要設備、補助設備に直接取り付けられる支持 構造物又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。
- (注4) 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物)をいう。
- (注5) 波及的影響を考慮すべき施設とは、下位の耐震クラスに属するものの 破損等によって上位の分類に属するものに波及的影響を及ぼすおそれ のある施設をいう。
- (注6) Ss:基準地震動Ssにより定まる地震力
 - Sd : 弾性設計用地震動Sdにより定まる地震力
 - S_B: Bクラス施設に適用される地震力
 - Sc: Cクラス施設に適用される静的地震力
- (注7) ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて 取り扱う。
- (注8) 原子炉圧力容器内部構造物は、炉内にあることの重要度を考慮して、 Sクラスに準じて取り扱う。
- (注9) Bクラスではあるが、弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを 確認する。
- (注10) 主蒸気逃がし安全弁排気管については、基準地震動Ssに対して破損 しないことを確認することで、蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。
- (注11) Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。

注記*1: 主要設備とは、当該機能に直接的に関連する設備をいう。

*2: 補助設備とは、当該機能に間接的に関連し、主要設備の補助的役割を持つ設備をいう。

*3: 直接支持構造物とは、主要設備、補助設備に直接取り付けられる支持構造物又はこれらの設備の荷重を直接的に受ける支持構造物をいう。

*4: 間接支持構造物とは、直接支持構造物から伝達される荷重を受ける構造物(建物・構築物、土木構造物)⁽⁹⁾をいう。

*5: 波及的影響を考慮すべき施設とは、下位クラス施設のうち、その破損等によって上位クラス施設に波及的影響を及ぼすおそれのある施設をいう。

*6: Ss: 基準地震動Ssにより定まる地震力

Sd: 弾性設計用地震動Sdにより定まる地震力

S_B: B クラス施設に適用される地震力 S_C: C クラス施設に適用される静的地震力

*7. ほう酸水注入系は、安全機能の重要度を考慮して、Sクラスに準じて取り扱う。

*8: 原子炉圧力容器内部構造物は、炉内にあることの重要度を考慮して、Sクラスに準じて取り扱う。

*9: Bクラスではあるが、弾性設計用地震動Sdに対し破損しないことを確認する。

*10: 主蒸気逃がし安全弁排気管については、基準地震動Ssに対して破損しないことを確認することで、蒸気凝縮性能の信頼性を担保する。

*11: Cクラスではあるが、基準地震動Ssに対し機能維持することを確認する。